

おわりに

冒頭1 ページで述べたとおり、現在、市内の触法行為少年の数は10年前に比べ大きく減少しており、青少年の非行状況は、全体として落ち着いた状況にあるといってもよいでしょう。しかし、深夜徘徊や喫煙で補導される少年の数は増加しており、安閑としてはられません。

こうした中で、本年度も中学校ごとに健全育成協議会が開催され、地域の子どもたちの状況について情報交換されたり、ふれあい活動の開催についての検討がなされたりしました。また、地域補導員と校外補導員による合同補導が、地域で子どもたちが集まりやすい場所やお祭りなどの機会をとらえ実施されました。「暗くならないうちに帰きなさいよ」などの一声が、地域の大人の存在を意識させ、見守られているという意識を子どもたちにもたせる大切な機会となっています。

また、蒲郡市の健全育成活動の特色といってもよい地域ふれあい活動は、本冊子で報告されているとおり、50近くの会場で開催されました。各地区の総代さんを中心として、PTA役員や子ども会役員などが実行委員となり、地域の子どもたちが一堂に会し、大人たちと触れ合う機会をつくってくれています。内容も子どもたちが楽しく参加できるよう工夫されたものが多く、中学生が積極的に会を盛り上げようと一翼を担っている会場も多くありました。こうした活動は、地域の青少年の健全育成のみでなく、地域の絆を深めるよい機会だと思われれます。今後も内容等の吟味がなされ、よりよいふれあい活動が継続して開催されることを願っています。

一方、青少年に関わることとして今最も社会で関心がもたれているのが、スマホ等を使うでのインターネット利用だと思います。この問題については、当センターとしても小中学校と連携し、25年度と26年度末にアンケートを実施し、その集計結果を学校での指導資料にしたり、保護者への啓発資料にしたりしました。また、当センター職員が講師となって学校や地域に出かけ、子どもや保護者、地域の方々を対象とした研修会を開催し、インターネットの正しい使い方、インターネット利用の被害から子どもたちを守ることにについて学習する機会をつくりました。本年度までに、52会場で4500人を越す方々が受講しています。さらに、本年度6月に開催した青少年問題協議会では、インターネット利用についてをテーマとし、出席者が市内の小・中・高校生の利用実態や問題等の報告を受けるとともに、安全な利用についての意見交換会を行いました。青少年育成に関わる委員の皆様から、多くの意見が出され、貴重な会となりました。今後もこうした地道な取り組みを進め、子どもたちが安全にインターネットを利用できる知識を高めると共に、子どもたちを取り巻く環境を整えていくことが大切であると考えています。

最後に、本年度も青少年健全育成に関わる多くの方々のご尽力により、様々な育成活動が展開できましたことに、改めて感謝を申し上げます。

平成28年2月

蒲郡市青少年センター

清水孝夫

＜表紙のマーク＞

平成 22 年度一般公募により決定した蒲郡市青少年健全育成地域活動のシンボルマークです。

水色は蒲郡の美しい海、オレンジは若さ明るさをイメージし、「地域の人々の手で明るく青少年を守ろう」のコンセプトで作成されています。

発行日 平成 28 年 2 月 1 日

発行 蒲郡市教育委員会

編集・印刷 蒲郡市青少年センター

〒443-8601 愛知県蒲郡市旭町 17-1

電話 0533-66-1168

製 本 親和原田プリント(株)